

入門ゼミ

発表と質疑応答

口頭発表で心がけるべきこと

伝えたいことがちゃんと相手に伝わるように！

□ 見える(読める)

- 文字サイズはできる限り24pt以上
- 背景と文字色のコントラストは高く(色文字は太字に)
- 太線を利用(ただの枠なら1pt, 強調なら3pt程度)
- 文字や図形の「かぶせ」は極力控える

□ 聞こえる

- 最後尾まで届く声で(マイクを適切に利用)
- 前(聴講者)を向いて, ゆっくりハッキリ

発表用スライドの流れ

1. 表紙(発表タイトル, 所属, 名前など)
2. * 長い発表の場合は「発表の流れ」
3. はじめに(発表テーマへの導入)
4. * 研究発表の場合は「研究背景・研究目的」
5. * すごく長い発表の場合は「流れの現在位置」
6. 内容
7. 5-6の繰り返し
8. まとめ

スライド作成：第1段階（流れの決定）

1. 発表のテーマ（内容と範囲）とタイトルを決定
2. 発表の流れを決定
 - 内容の箇条書きと、必要スライド数の見積もり
3. 各スライドのテーマとタイトルを決定
4. 内容を簡潔に箇条書き
 - それとは別に、伝えたいことを20pt程度で作文
 - スライドから溢れたら、内容を分割
5. 図形の利用を考慮しつつ、配置を決定
 - 観せる順序を誘導（左から右、上から下が原則）
 - 矢印の利用が効果的（乱用厳禁）

スライド作成：第2段階（内容の具体化）

1. 可能な限り，文章ではなく短文で記述
2. 基本的に体言止め（文の終わりが名詞）
3. 理解しやすい（誤解しにくい）言葉へ置き換え
 - 「自分が」ではなく「相手が」
4. 図表（図形・グラフ・表）を使った説明に置き換え
 - テキスト，長方形，角丸四角形，楕円，矢印，吹き出し
 - グラフには軸の説明（内容と単位）が必要
 - 表には行と列の説明（内容と単位）が必要
 - それなりの太さと適切な色分け（線種指定）が効果的
 - 図形そのものに意味（スライド全体で統一）

スライド作成：第3段階（効果的な修飾）

1. デザインテンプレートを利用
 - シンプルな方がいい場合が多い
2. 太字・色文字・下線の利用
 - それぞれに意味（スライドで統一）
3. アニメーションの利用
 - アニメーションそのものに意味
 - かぶるようになったらスライドをコピー

**乱用厳禁（至る所を強調させても無意味）
聴講者が混乱しないよう配慮**

発表時

- 自信をもって笑顔で発表
- 発表原稿を読むのはアリ
 - ただし、できるだけ前を向く
- ポインタ(指し棒)を上手に利用
 - 乱用や意味もなくフラフラさせることは厳禁



上級者

- 身振り手振りを交えながら
- 聴講者と交流しながら
- アドリブを利かせながら



Level 0 : 質問できない(≠しない)

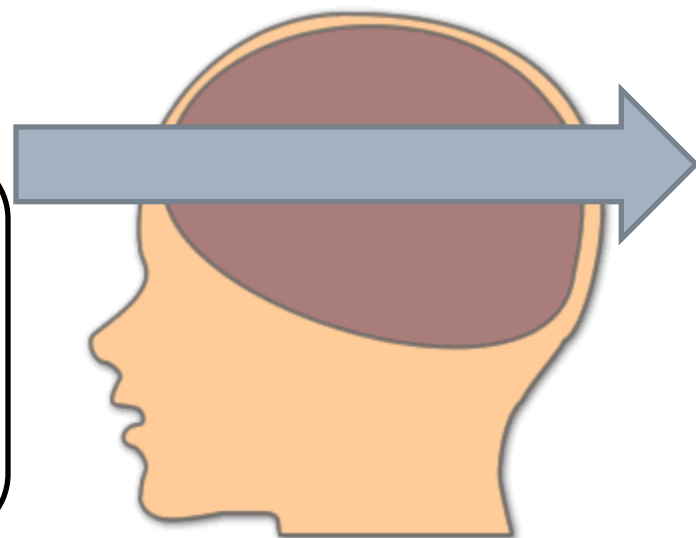
□ 学生の多くはこれ

□ 原因

- 発表を流し聞きしている(興味がない?)
- 発表内容を理解できていない
- 質問する勇気がない

ステップアップに向けて

- ・他者の研究へ興味を持つ
- ・何か質問しようと心がける
- ・発表者は理解のしやすさを心がける
- ・質問は恥ずかしいことではありません



Level 1 : 場当たりの質問

□ 質問の多くはこれ(になっていませんか?)

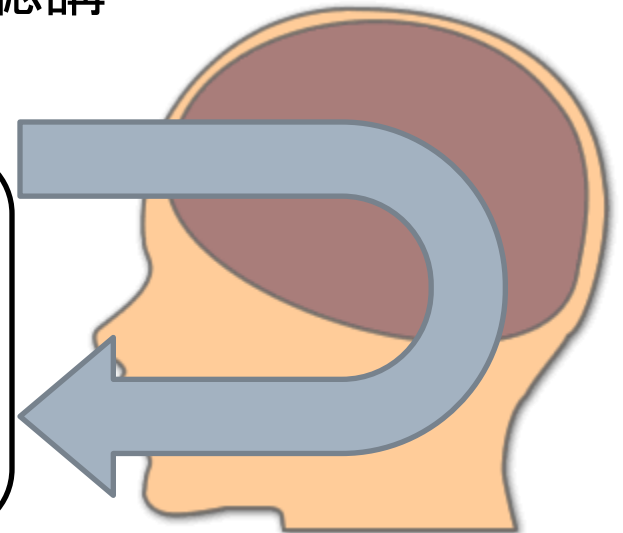
例 ~は何ですか? / どうしてですか?
~についてもう少し詳しく

□ 原因

- 発表内容を十分に理解できていない
- 分らなかった部分にとらわれたまま聴講

ステップアップに向けて

- ・ 関連性を整理しながら聞く
- ・ どこがどう分からないのかを把握する
- ・ 他者の研究へ理解を深めておく
- ・ 論理的思考を養っておく

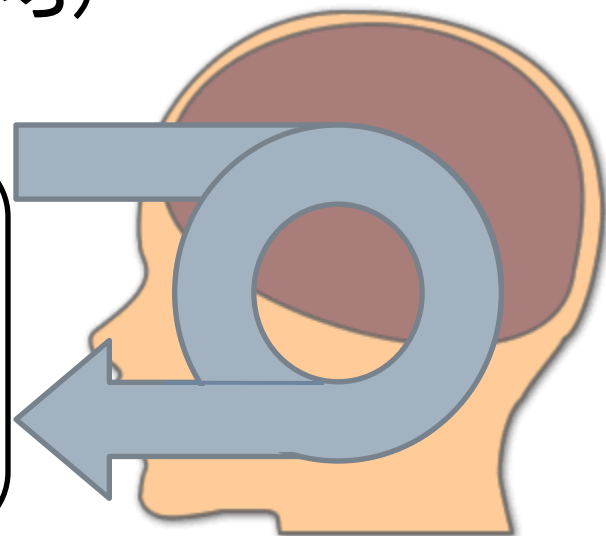


Level 2 : 把握した上での質問

- 上級生の質問の多くはこれ
- 特徴
 - 複数のスライドにまたがっている(相違点や比較など)
 - 具体的
 - 論理的
 - しかし, 単発的(回答にすぐ満足しがち)

ステップアップに向けて

- ・ 回答の予想とそれへの返しを考える
- ・ 他の様々な情報との関連を考える
- ・ 視点を変えた再理解を試みる
- ・ 発表者や聴講者への愛情



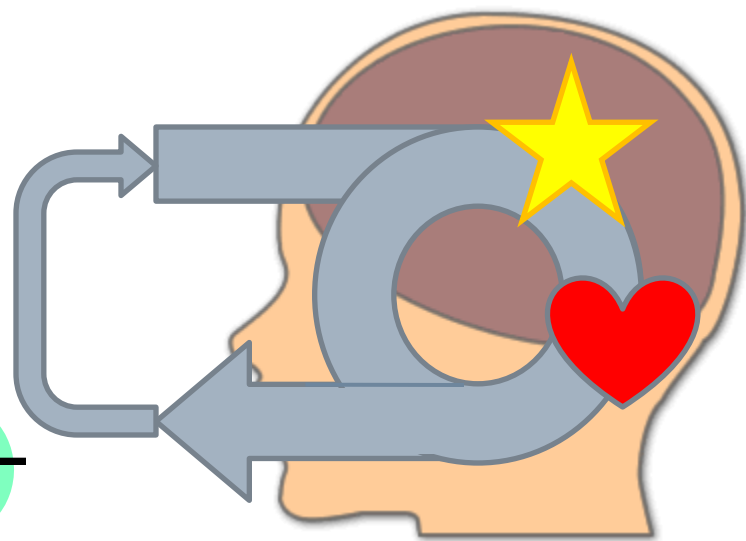
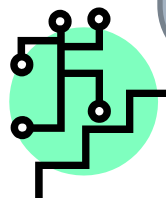
Level 3 : 実りのある質問

□ できる人の質問はこれ

□ 特徴

- 自分の考えが含まれている(コメントなど)
- 質問者と発表者のキャッチボール
- 誘導的
- 発展的
- 周りの理解を補助
- 発表者側にも力を要求

つまり、ディスカッション！
このレベルを目指して



発表者側へ・・・

- 沈黙しない
- 自分の発表内容を理解しておく
- 分かりやすい発表を心がける
- 慣れないうちはQ&Aを作っておくのもOK
- 基礎知識や予備知識を蓄えておく
- 質問の解釈に不安を感じたら聞き返す
- 発表会後のディスカッションは大いに
- 「後で調べておきます」は、ちゃんと調べておく
- 凹まされても引きずらない